



横浜国際高等学校
国際科国際バカロレアコース
進路のしおり
2023



目次

1. IB コースを選択して進学する	2
2. 国内進学について	3
3. 海外進学について	4
4. 併願について	5 - 6
A) 国内と海外の併願の場合	
B) 異なる国の間の併願の場合	
5. 受験結果状況について	7
6. 進路状況	8 - 10
7. 卒業生から在校生へのメッセージ	11 - 19

1. IB コースを選択して進学する

IB コース生は、海外・国内ともに自身が3年間で培ってきた総合力を駆使して、進学していくこととなります。日本国内の一般選抜のように学力試験を受けて合否を測られるような形式ではなく、表現力や論理的思考力などを必要とする選抜方式となります。IB コース生は、多くの課題や論文執筆に取り組み、課外活動で多様な経験を積むことが見込まれます。そのため、自分の活動をポートフォリオとして、記録しておくこと出願の準備の際に役立ちます。大学が提示するアドミッションポリシーと生徒自身の希望が合致することが満足度の高い進学に繋がるため、大学・学部研究をしっかりと行うとともに、自己分析を行い自分のこともよく知るよう努めましょう。IB コースでの学びを活かした進路選択ができるよう1年次から準備する必要があります。

3年間の流れ

1年次：大学・学部を知る

1年次から始める大学研究は非常に重要です。それぞれの大学の特色（強み）を理解していくためには資料や書籍の読み込みも必要なため、時間がかかります。大学選びをスムーズに行うためにも1年次でのリサーチはしっかり行うべきです。海外大学のリクルーターを招いた説明会は世界情勢によりウェビナーに置き換わっています。自分で興味のある大学のホームページにアクセスして、参加してみると良いでしょう。海外の大学情報も大学のホームページより入手可能ですので、幅広く検索してください。また、9月から11月ごろに各国の大使館などが実施する留学フェアに参加し、情報収集をしましょう。フェアでは大学の入試担当の方や卒業生と話ができるため、インターネットではわからない情報も収集できます。国内でもオープンキャンパス等を利用して大学・学部研究を進めてください。できるだけ多くの情報を集めて、大学決定に活用しましょう。

2年次：大学選択の準備

大学のことを知ると、その大学に合格するために、自分が何をすべきかが見えてきます。例えば、IELTSで6.5が必須条件の場合、あとどれくらいの積み重ねが必要で、いつまでにそのスコアに到達しないといけないかが明確になります。受験可能な時期や回数をよく検討して、出願までの計画を立てることが大事です。3年次になる前に、出願大学を絞り込み、入試要項を取り寄せる手配や、アドミッションオープンを随時ホームページで確認しましょう。3年次になるまでに、過年度の出願スケジュールで自分のスケジュールを把握しておくことをお勧めします。出願計画を立てることが合格を掴むためのカギとなってきます。

3年次：出願

おおよその出願計画を立てた上で、実際の入試要項やホームページを確認して、出願計画を確認してください。志望理由書やエッセイ、また推薦書を仕上げる計画が重要になります。同時に、2年間の学校生活を振り返りながら、自己分析をしてください。自分は将来どのように生きていきたいか、どのように社会と関わり社会に貢献したいのか、自分の情熱は何に向かっているのかなど10年先20年先の自分を想像してください。そのためには、まず大学で何を学び、自分のどんな強みを伸ばしたいか、さらに、それを学ぶために自分は今それに適した資質をどの程度持ち合わせているのかなど時間をかけてじっくり自分と向き合ってください。徐々に整理され、本当にやりたいこと、行きたい大学もはっきりしてくるでしょう。志望理由書や出願エッセイ等を仕上げ、推敲を繰り返し、完成させます。出願のプロセスは、非常に時間がかかり、精神的にも追い込まれることもあるかもしれません。早めに備えましょう。

2. 国内進学について

IB コースを選択して国内進学する場合、次のような選抜方法があります。

- A) 国際バカロレア特別入試
- B) 総合型選抜
- C) その他推薦入試
- D) 指定校推薦
- E) 一般選抜

A) 国際バカロレア特別入試

全国で 78 校の大学で IB スコアを活用した入試を行っています。(文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム事務局調べ・2023 年 1 月時点) 選抜方法は大学によって異なりますが、多くの大学で、EE や TOK の提出や CAS の活動報告が求められます。大学によっては、求める IB スコアの出願要件を満たす必要があるため注意が必要です。また、国公立の併願も可能であり、国公立も目指しやすくなっています。

B) 総合型選抜

志望理由書だけでなく、その他の提出する書類が多いことや、面接等も実施されることがあるため、入念な準備が求められます。

C) その他の推薦入試

東京外国語大学のように、帰国子女特別入試などを実施する大学の場合、国際バカロレアコースで資格取得見込みであれば、出願資格を満たします。志望理由書だけでなく、活動報告書等の提出がある場合や、面接も実施されることがあります。

D) 指定校推薦

IB の 7 段階評価を国際科の 5 段階国際科に換算して評定平均を出します。IB コースを区別しないものと、IB コースのみを対象とした指定校があります。大学側から提示される推薦基準を満たすとともに、本校独自の推薦基準もあります。

E) 一般選抜

日本の教育課程と国際バカロレアのカリキュラムは異なるため、一般選抜を選択する場合は、早い段階からの入念な準備が必要です。

A、B、C の推薦型が IB コース生としての学びをアピールすることができる選抜方法です。3 年間で培った資質、スキルを活かしていきましょう。国内の IB 入試は大学によって異なります。大学側の制度が確立していないこともあるので、学校、大学と連携して対応する必要があります。

なお、卒業後、いわゆる「浪人生」として、IB スコアを利用して受験する場合には、再受験をしない限り、一度取得したスコアは更新されないことに留意する必要があります。

3. 海外進学について

世界中の大学への進学が可能と言えます。海外の大学に出願するプロセスは国によって異なり、また大学によっても異なります。よく情報を収集し、適切に出願していきます。

英語圏の国への進学が多く、アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダが主流となります。ヨーロッパなど第一言語が英語以外の国への進学の場合、現地の言語力が求められることがあります。英語プログラムを実施する大学を選択して進学することもあります。

A) アメリカ

学力、課外活動、資質など総合的かつ、多面的に判断されます。面接がある場合もあります。大学によって出願エッセイ・推薦書が複数枚になります。高校での活動や成長、人物像が、容易に想像できるように執筆します。一般的な出願方法は Common Application と呼ばれるシステムがありますが、州によって独自のシステムを導入している場合があるため、志望大学の出願方法をよく確認する必要があります。

B) イギリス

出願する学部に関する課外活動や、その分野を学ぶための資質が評価されます。アメリカと異なり3年間で学位取得が可能のため、専門分野を学ぶ準備がどれだけできているかをアピールすることがポイントです。また、5校に同時に出願するため (UCAS 利用) 特定の大学の理由よりも、学部の志望理由とともに、イギリスを選択する理由を述べるのが一般的です。

C) オーストラリア

基本的には IB スコアで合否が決まります。出願と同時に奨学金の申請が行われます。出願は、「オーストラリア留学センター」等、オーストラリア政府認定の公式出願窓口を通して行うのが一般的です。無料相談を早めに受けましょう。

D) カナダ

大学により出願書類は異なります。IB スコアや成績証明書等の書類提出のみの場合、複数枚のエッセイ提出や面接が行われることもあります。大学が提示する締め切りより早く出願していくことが重要です。また、州によって出願システムが異なるため、州を跨ぐ場合には注意が必要です。

E) ヨーロッパ (イギリス以外)

CV (curriculum vitae) やエッセイの提出が求められることがあります。CV は履歴書に近く、バイトなどの経験も記載します。大学によっては、数学などの試験が別途実施されます。

北欧については、学部進学において英語プログラムを開講している大学を選択することで、進学は可能です。生活する上で、現地の言語習得は必要不可欠になるでしょう。

海外大学へ出願する場合は、卒業するまでに進路が決定しない場合もあります。また、合否の結果通知が早い場合もあれば、最終的な通知期限ぎりぎりの場合もあります。焦らず、信じて待ちましょう。

海外大学に出願する場合の補足として、次の2点をあげます。

1. 英語の外部試験

大学は留学生に対して、一定の英語力を証明することを求めます。その英語力に達していれば、直接大学に入学することが可能ですが、English B の履修者は TOEFL や IELTS のような外部試験のスコアにおいて、必要スコアに達していない場合、ファウンデーションコースと呼ばれる大学準備コースで英語力を伸ばす必要があります。英語に不安がある生徒にとって、ファウンデーションコースは安心して海外に挑戦できる存在となります。ただし、1年程度を必要とするため、イギリス、オーストラリアともに、本来3年で卒業が可能ですが、卒業までに4年程度必要となります。

2. ギャップイヤー (Gap Year) の活用

海外の大学では一般的な制度として、ギャップイヤー (Gap Year) の活用を検討する場合があります。これは、大学が入学前や在学中に休学することを許可するもので、休学中にインターンシップ、ボランティア、留学など、さまざまな経験を積むために活用されます。大学から合格をもらったのち、その手続きを行うこととなります。検討する場合は、自分がなぜ休学をするのか、目的意識をもち、より充実した大学生活を送れるようにしましょう。

4. 併願について

併願を検討する際に、最も留意すべき点は、スケジュール管理です。最大で4つのスケジュールが同時進行で行われることを意識しましょう。出願する大学、国をどのように計画するかが成功のカギとなります。おおまかなスケジュールは次の通りです。

1. 国内 — 基本的に国内の出願は9月ごろを皮切りに11月ごろがピークになります。大学によって、2月ごろまで出願がある場合もあります。
2. 海外 — 国によってこととなりますが、翌年の秋入学を目指す場合、10月ごろから始まり、1月ごろまでがピークになります。例えば、国ごとの締め切りの目安は、アメリカの場合、早い出願は10月、通常は1月ごろ、イギリスのケンブリッジ大学・オックスフォード大学は10月、それ以外の大学は1月、オーストラリアは1月ごろ、カナダは最終的な出願が1月ごろです。
3. DP — プログラム (学校での課題等) のスケジュール、4・5月ごろにほぼすべての科目で内部評価 (IA) が行われます (詳細はDPハンドブック Assessment Calendar をご覧ください)。その後、国内の出願に活用されるMOCK 1が実施されます。また、9月には全員が活用する重要なMOCK 2が実施されます。11月にはいよいよ最終試験になります。
4. 奨学金 — 学生支援機構 (JASSO) の海外進学希望者向けの奨学金の申し込みを行う場合、9月から10月に申し込みを行います。具体的な留学の目的、将来の展望などエッセイが求められます。また、1次を通過した場合は面接も行われます。その他、国内で申請をする奨学金も同じような時期に選考が行われることが多いので注意しましょう。

A) 国内と海外の併願の場合

表1のように具体的な大学を少し提示して説明します。4月には、自己分析と大学・学部研究を本格化させていきます。一貫した学部への志望理由と将来の展望を固めていくことで、出願の締め切りが早い大学から順次エッセイの初稿を完成させると同時に、教員に依頼する推薦書の内容を検討する必要があります。

それぞれの締め切りに出願書類を間に合わせるためには、少なくとも初稿を2か月前までには仕上げることをお勧めします。しかし、イギリスは1月下旬が締め切りのため、2か月前は最終試験中になりますので、やはり夏には初稿を書いておけると安心だと思います。

エッセイと推薦書の執筆と同時に重要なのが、MOCK 1と2です。横浜市立大学に出願する場合、MOCK 1を活用します。東京外国語大学、上智大学、イギリスの大学はMOCK 2を活用します。つまり、両方のMOCKが出願に大きく影響するという事は、受験のピークが長いということになり、精神的体力的な負担も大きくなります。どちらのMOCKに重点を置くかということも、出願校を決める際のポイントと言えるでしょう。

MOCKで算出される見込み点によって出願できる大学が変わる可能性があります。自分の目指す大学のスコアに見込み点が届くように学習に励みましょう。

表1 国内とイギリスの併願（ケンブリッジ・オックスフォード大学を除く）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
横浜市立大学			エッセイ初稿			出願〆切					
東京外国語大学					エッセイ初稿			出願〆切			
上智大学							エッセイ初稿			出願〆切	
UK					エッセイ初稿					出願〆切	
DP	IA	IA	MOCK 1			MOCK 2		最終試験			
JASSO（海外向け）				エッセイ初稿			申込〆切				

B) 異なる国の間の併願の場合

出願の準備における時間と労力という点において、複雑さは異なりますが、おおよそ、①アメリカ、②イギリス/カナダ/ヨーロッパ、③オーストラリアの3つのタイプに分けられます。①アメリカと②イギリス/カナダ/ヨーロッパの併願より、①アメリカと③オーストラリアの併願は比較的容易であると言えます。しかし、出願の複雑さよりも、自身が何をどこで学びたいかということが一番大事にして、出願先は検討すべきです。

表2はアメリカ(Common Application 活用による出願)の早期出願(early decision)、通常出願(regular decision)、イギリスの出願(ケンブリッジ・オックスフォード大学を除く)の出願締め切りを示します。アメリカの早期出願の場合、専願の扱いになりますので、出願には注意が必要です。アメリカの場合、出願する大学によって提出書類はかなり異なります。早期で決まらない場合に備えて、通常出願とイギリスの準備を同時進行で行います。表2のように、夏に初稿を書くことになるので、それまでに自己分析等を進めることをお勧めします。

表2 アメリカ(Common Application 活用)とイギリス(ケンブリッジ・オックスフォード大学を除く)の併願

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
US早期出願					エッセイ初稿			出願〆切			
US通常出願							エッセイ初稿			出願〆切	
UK					エッセイ初稿					出願〆切	
DP	IA	IA	MOCK 1			MOCK 2		最終試験			
JASSO（海外向け）				エッセイ初稿			申込〆切				

5. 奨学金について

海外進学の際に、最も多く聞かれる質問の一つに奨学金があります。一般的に国内大学に進学する場合、奨学金は給付型（返済不要）と貸与型（返済必要）に分かれますが、海外進学において奨学金(scholarship)は返済不要のものを指します。貸与型の場合は学費援助 (Financial aid) と呼ばれ区別されます。

海外進学者向けの奨学金は大きく分けて2種類あります。

- ① 国内で申し込む奨学金
- ② 海外で申し込む奨学金

①国内で申し込む奨学金は、日本学生支援機構（JASSO）の国費による支援をはじめ、柳井正財団、公益財団法人グルー・バンクロフト基金、リクルートなどがあります。しかし、海外進学者向けの奨学金の競争率は高く、非常に狭き門になっています。

②海外で申し込む奨学金は、合格後に大学から提供される奨学金も含まれます。渡航前に、学費の免除率が提示されることもあります。イギリスは、初年度のみ奨学金の場合が多いですが、アメリカの場合は、在学中に成績優秀者に奨学金が出るケースもあります。大学ごと学部ごとに奨学金の内容も異なるため、大学選びの際に、留学生向けの奨学金の有無、学部ごとの奨学金の有無等は、大学のアドミッションに問い合わせましょう。

さらに、出願の際に、奨学金を申し込む場合には、提出書類が異なる場合があります。出願の際に、よく確認し、奨学金に申し込めるようにしてください。アメリカの場合は、奨学金を希望する場合としない場合で、合否に影響する大学もあります。ポリシーをよく確認しましょう。

奨学金以外にも、寮費などを免除してもらえる制度がある大学もあります。例えば、寮の管理人として、寮生をまとめるリーダーを引き受けると寮費の一部免除等がある大学があります。事前に、経済的な負担軽減について調べることで、海外進学における経済的ハードルをクリアできるかもしれません。

奨学金は、自分に該当するものを探し続け、アンテナを張っておくことが大事です。国内で申し込む奨学金だけでなく、進学後、大学で申し込む際にも、情報収集を惜しまないようにしましょう。

(参考)

海外留学支援サイト. (n.d.). 海外留学支援サイト. Retrieved June 24, 2022, from <https://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>

6. 受験結果状況（14・15期生 IBコース生 令和5年5月1日現在）

【日本】（50音順）

国公/ 私	大学名	14期				15期				合計
		指定校	IB入試	総合型・ 帰国等	一般	指定校	IB入試	総合型・ 帰国等	一般	
国公	会津大学						1			1
国公	岡山大学						1			1
国公	鹿児島大学						1			1
私	慶應義塾大学							3		3
私	國學院大学			1						1
国公	国際教養大学							1		1
私	国際基督教大学							1		1
私	芝浦工業大学		1				1			2
私	順天堂大学			1						1
私	上智大学		2					1		3
私	西南学院大学		1							1
国公	筑波大学		1				1			2
国公	東京外国語大学			1				1		2
私	東京理科大学		1							1
私	フェリス女学院大学			1						1
私	法政大学		1					1		2
私	武蔵野大学		1				1			2
私	明治大学				1	1				2
国公	横浜市立大学		3					5		8
私	立教大学					1				1
私	立命館アジア太平洋大学		2					1		3
私	早稲田大学							1		1
	合計	0	13	4	1	2	6	15	0	41

海外大学名（アルファベット順）

アメリカ	14期	15期
College of The Desert	1	
DePauw University	1	
Diablo Valley college	1	
Drake University	1	
Knox college	1	
Michigan state University	1	
Muhlenberg college	1	
San Francisco State University	1	
San Francisco State University Bakersfield	1	
San Francisco State University Dominguez Hills	1	
San Francisco State University East Bay	1	
San Francisco State University Fullerton	1	
San Francisco State University Long Beach	1	
San Francisco State University Northridge	1	
Stanford University	1	
Stony brook University - State University of New York	1	
University at Albany - State University of New York	1	
University of Arizona		1
イギリス	14期	15期
Arts University Bournemouth	1	
Goldsmiths, University of London	2	
Kingston University London	1	
Queen Mary University of London	1	
Queen's University Belfast		1
Royal Holloway, University of London	2	
The University of Manchester		1
The University of Sussex	3	
University College London	1	
University for the Creative Arts	1	
University of Edinburgh	1	
University of Salford		1
University of Southampton		1
University of the Arts London	1	
University of York	1	1

海外大学名（アルファベット順）

オーストラリア	14期	15期
Adelaide University	1	
Griffith University		1
Monash University	1	
New south wales University	1	
Queensland University of Technology	2	
RMIT University	1	
The University of Adelaide	1	
The University of Melbourne	1	
The University of Queensland		1
University of Technology Sydney	1	
スエーデン	14期	15期
Linköping University	1	
オランダ	14期	15期
Eindhoven University of Technology		1
University of Amsterdam	1	
マレーシア	14期	15期
Monash University	1	
ベルギー	14期	15期
KU Leuven		1
ニュージーランド	14期	15期
Auckland University of Technology		1
University of Otago		1

7. 卒業生から在校生へのメッセージ

○ 早稲田大学 / 文化構想学部 / IB 2期生

① 志望大学決定までのプロセス、決定の上で役に立ったこと、参考にしたこと

もともと琉球文化という特定の日本文化やメディアという媒体に興味を持っていたということから私の志望校探しは始まりました。また同時に、国際バカロレアでの経験を活かして英語で学ぶことができる大学を志望していたので、英語で開講されている講座があることは絶対条件でした。二年生の段階ではある程度数校に目星を付けていましたが、志望校として早稲田大学の文化構想学部を設定したのは三年生の一学期だったので、周りよりは少し遅かったです。今思い返すと、早稲田大学が主催していた受験生のための「こうはいナビ」を通じて実際に国際日本文化論プログラムのお話を聞くことができたことや、オープンキャンパスで授業を体験できたことが志望校決めにとっても役立ちました。現地に行って在校生の言葉を聞くことはインターネットや書籍からではわからないリアルな意見や学部の特徴を知ることができるので、国内進学を希望するのであれば新入生向けのポータルや学校主催のイベントに参加することを強く推奨します。

② 受験計画を立てる上で意識したこと

最も意識したことは、志望校を中心としていかに効率よく受験をこなしていくのかという点でした。私たちIB生には国内大学の受験と並行して二年間の集大成であるIB試験が10月の後半から11月にかけて行われるため、計画を詰め込みすぎるとどちらも中途半端になってしまう可能性があります。もちろんどちらかに集中することも大切ですが、「いつ、何に集中すべきなのか」と意識できるくらいの期間の余裕は必要だと思います。特に、いつこの大学の試験を受けて、どの期間で最終試験の勉強に取り組むのかなど計画を立てた上で、個人の時間が増える三年生の夏休みを迎えることをお勧めします。夏休み後のモック期間に出願が重なる大学も多いので、余裕と見通しを持つためにも計画は早いほどいいです。私は一番初めの出願が9月の初旬だったため、提出書類のエッセイを6月から志望校を含めた2校分書き始め、夏休みは週一のための添削で受験対策していました。それ以外の時間は全てモックの学習に使えたことが本当によかったなと今振り返って感じています。

③ 面接対策

自分が出願時に提出したエッセイ（志望理由書）を元に質問をされるケースが国内大学においてはとても多いと思います。そのため、一番心がけたことは自分のエッセイを何度も読み直し、自分でツッコむという対策方法です。例えば、志望理由でメディアの発展について書いた場合、大学での具体的な研究方法や発展させるための事例、今後の自身の計画、メディア業界の現状など、より深掘りした回答が必ずできるように事前にリサーチしてください。就活的になってしまうかもしれませんが、何か特定の業種や職業を主な志望理由として選択している場合は、自分自身の目標に対する深い理解を示すためにもインターネットで業界研究について調べてみることもお勧めします。

○ 国際教養大学 / 国際教養学部 / IB 2期生

① 志望大学決定までのプロセス、決定の上で役に立ったこと、参考にしたこと

海外大を目指すために IB に入ったものの、パンデミックなど海外進学には厳しい条件ばかりで、悩んでいるうちに、3年の夏休みに入ってしまった。それまで、国内外のオープンキャンパスや留学イベントにオンラインで参加していましたが、ピンとくる志望校になかなか出会えませんでした。ただ、その中で一つだけ実際にキャンパスを訪問してみたいと思ったのが AIU。AIU は国内にありながらも、レジデンシャル型、全授業が英語、1年間留学必須、リベラルアーツという点にひかれ、3年の夏休みに対面オープンキャンパスへ行きました。生き生きとした大学生との会話から学校の様子がよく分かり、想像以上にキャンパスの雰囲気も良く、その場で第一志望に即決しました。総合型選抜の入試日が IB 最終試験に近かったため不安でしたが、ここでチャンスを逃したら後悔すると思い受験を決断しました。倍率は 10 倍、しかも秋田までの受験会場は遠く、直前の追い込み勉強をしながら羽田空港に到着しましたが、制服を忘れたことに気づいた時は絶望的な気持ちでした。往復交通費や宿泊代だけでもお金がかかるのに、制服を取りに家へ戻ったため行き航空券は買い直さなくてはなりません。そんなハプニングもありましたが、挑戦して本当に良かったと思っています。オープンキャンパスで「絶対ここに入りたい」と思ったことが、最後までやり遂げるモチベーションになりました。国内外を問わず、できる限り実際にキャンパスを訪問することを強くおすすめします。

② 提出書類準備（志望理由書、TOK、EE、CAS など）

最も苦戦したのが自己 PR 書です。就きたい仕事や大学で何を学びたいのかも分からず、将来の計画について書くことは難しかったです。また、CAS で課外活動に取り組んでいたものの、自信を持ってアピールできそうな活動はなかったので、挫折しそうになりました。この時、主に二つのことをしました。一つ目は自己分析です。私はこれまで一切したことがなかったので、具体的に自分が何に関心を持っているのか、どのような経験や学習をしてきたのかなど、今までの人生を振り返ってみました。また、先生や両親から客観的な意見をもらい、自分を知る機会をもうけました。思ったより書くことが見つかり、最終的には内容が多すぎて文章を必死に削るくらいになりました。もちろん EE や IA などの論文執筆、CAS で行った活動、IB のカリキュラムについても多く触れました。また、もう一つ行ったことは、大学のパンフレットを何回も読み、その大学の特徴を把握することです。本当にこの大学で学びたいのか、大学の生徒像と一致するかを大学は慎重に見るため、大学自体についてもじっくり研究しました。

③ 面接対策

対策として行ったことは主に 3 つあります。

1. 自己 PR 書に書いたことに基づき、想定される質問を考えておく：

面接では自己 PR 書に関する質問をいくつか聞かれました。そのため、自己 PR 書の内容は創作せず、ありのままの自分について書くことをお勧めします。自己 PR 書に書いたことを徹底的に考察し、両親や先生に質問を考えてもらい、日本語と英語で面接の練習を一緒にしました。

2. 日頃から時事問題に触れる：

これは効果的なので、やっていて本当によかったです。大学はどの程度社会課題や世界情勢を理解しているのか、関心を持っているのか、それに対してどのようなアクションを起こしているのかを見ます。「自分が興味を持っている時事問題について教えてください」と聞かれる時もあれば、「現在の AI の発展についてで思えますか？」とピンポイントで聞かれることもあります。私は勉強の息抜きや通学時間に日本語と英語でニュースや TedTalk を聞き、聞かれそうな質問を常に考えていたため、面接ではっきりと自分の意見を述べることができ好印象に繋がりました。時事問題の知識は小論文でも大きく役に立ったので、普段から世界情勢にアンテナを張っておいて良かったと実感しています。

3. ひたすら話す練習をする：

志望大学の過去の面接に出た質問を YouTube やネットで収集し、質問に対する自分の答えやポイントをまとめていたので、様々な場面で使い回しができました。しかし、まとめたことを書いてだけで満足してしまい、学校での模擬面接では全く話せませんでした。内容を頭で理解していることとそれを実際に口に出すことは全く別物であることを実感しました。口に出す練習をしないと答えが長くなり、面接官は聞き飽きてしまいます。私は学校で先生やクラスメイト、家では両親や鏡の前など、工夫をしながら面接の練習をしました。意外といつも一緒にいる家族や友達の前で話すのが最も緊張したりするので、成長に大きく繋がりました。

○ 慶応義塾大学 (SFC) / 環境情報学部 / IB 2 期生

・ AO (総合型) 入試と IB 入試どっちがいい???

まず前提として、どっちがいい?と聞かれたら DP 取って海外行くことをお勧めします (答えになってない笑)。特に、高い IB スコアを取れそうな人は海外大学を目指した方が IB を活かして高いレベルの大学に行きやすいと思います。各自調べてみて、国内志望の人も英語の外部試験は受けておくともし国内落ちたり気が変わったりしても安心です。実際、自分は SFC 合格後やっぱ海外挑戦すればよかったなーなんて思ったりもしたので、、、笑

本題に戻りましょう。AO 入試と IB 入試、似てるようで戦略はかなり違います。

まず、ライバルが違います。AO は全高校生が対象でありライバルが多く、皆さんが行きたいような有名な大学では倍率がかかなり高いことがほとんどです。しかし、ライバルは一般高校生であり、IB で培った能力や経験は他生徒よりも優れていることは確実です。(よく言えば、たとえ IB で点数高くなくても「数学でこんなことを積分使って明らかにした論文書きました、しかも英語で～」なんて言うだけで一般高校生の中ではかなり印象に残るでしょう。) そのため、IB で行ったこと、他生徒より自分が優れているところをしっかりアピールすれば倍率は高くても合格の難易度はそこまで高くないのではないかと考えられます! ポジティブに! がんばれ!! 一方、IB 入試は医学部などでない限りそこまで倍率が高くなく、ライバルは比較的少ないです。しかし、ライバルはみな IB 生となるため他の IB 生よりも優れているところをアピールしなくてはならないため意外と大変かもしれません。これらの特徴をしっかりと理解して自分のどこをアピールするとよいのかを考え受験の準備を進めるとかなり有利になるのではないのでしょうか。

また、IB 入試の難易度は各大学の IB 認知度によって大きく異なります。上智大学などのように IB スコアと志望理由書や EE などの書類審査のみで、スコアの足切りさえ満たせば合格者多数のような IB をよく認知してくれている大学も探せば多く見つかります。一方で、IB スコアに加えて別に独自の学力調査を実施するような大学もあります (理系に多い)。基本的に後者のような大学は IB があまり認知されていないことが多く、あまりお勧めしません。私が受験した筑波大学の理工でも IB 数学物理ともに HL で 7 を取っていても IB 非対応の問題に苦しみ、学力不足とみなされ不合格 (なんなら歴代合格者 0) でしたので、、、

よって、過去の IB 入試合格者数などを確認し、IB 入試が有効と判断した場合には IB 入試を積極的に活用し、そうでない場合は AO 入試で挑戦するという形がいいのではないかと考えます。

・ AO 入試 (特に SFC) を受験するにあたって

SFC では IB 入試はありませんが、個人的に国内で最も IB 生と相性が高い大学だと思っています (学習方針とか思想とか)。しかし、倍率は 10 倍とかなり高くしっかりと大学の思想を理解し自己分析を行い、資料作成に取り組む必要があります。

一次試験の書類審査では、大きく 4 つの資料を提出します。この中で最も大事なのが志望理由書です (どの大学入試でも大事!)。基本的に SFC では任意提出資料で 10 項目まで自己アピールを行えるため、ここで IB の EE や理系であれば IA の論文、CAS 活動や TOK などやその他自分の凄いところを存分にアピールするとよいでしょう (少し盛るくらいで、笑)。ここは IB 生であれば 10 項目すぐ埋まるし他生徒よりもかなり充実した自己アピールができると思います (心配なし!!)。しかし、SFC では 10 倍の倍率のうち、半分が志望理由書だけで落とされると言われています。つまり、志望理由書を突破できなきゃ自己アピールみてもらえな

ということです。ほんとに志望理由大事、多くの時間をここに費やしてよく考えましょう！ヒントとしては、学びたい分野とその理由に「自分」を入れ込み、「自分が」貴学でそれを学ぶ理由、そのメリットを考えてみてください。学ぶ分野を複数組み合わせることで何かを成し遂げる、という構造が作れたらより良いです。SFCは学問と学問を組み合わせることで問題を解決することを目指しています。これらのテーマについては学年や志望校に関係なく今から少しずつ考え始めておきましょう。また、どの大学でも志望理由とするテーマに少しでも関係するものをEEやIAで触れられたら最高ですが、それは難しいので理系を目指す人はとにかくEEとIAで多くの実験をして完制度を上げておくとかかなりアピールできますよ。がんばり！

二次の面接は、噂の通りたぶん圧迫ですがいつも授業で話したり先生から論破されたりしてそれに対抗しながら生きているIB生なら大丈夫です。たぶん。

国内受験する人は必ずMOCKやFINALの試験とどこかにかぶると思います。SFCは一次がMOCK2で二次がFINALとめっちゃかぶります。3年はかなり辛い期間が続くと思いますが、受験準備は計画的に行い、IBの勉強と両立させて頑張りましょう！頑張りぬいた先のFINALも受験も終わった時期はほんとにやっとなんか暇な高校生活が来たって感じで最高だよ～！！あきらめずに！ファイト～！！

【受験計画を立てる上で意識したこと】

まず、私から強調しておきたいこととしては、「海外か国内かを早期に決める。」です。国内の大学の出願は海外よりも早いため、前々から準備が必要になります。当初、私は海外か国内かで迷っており、グラグラしている状態が夏休み前まで続いていました。結果的に国内の大学を受ける方針に定まりましたが、そこから提出書類を急いで完成させ、課題・勉強に追われるなど両立に大変苦労しました。そのため、3年の初め頃には国内あるいは海外かを確定して、行きたい大学・学部の候補を固めておくといいと思います。また、○○学部の中でも他大学と異なる特色のカリキュラムや様々な方面で活躍している専門家がいるので、大学のホームページなどでどのようなカリキュラムがあるのか、教授がどのような研究をやっているのか、ゼミではどのようなことを学べるのかを深く調べ、自分が学びたいものと本当にマッチしているかを確認めるといいです。今は「よし、絶対海外行くぞ!」と考えている人も、調べていくうちに「もしかしたら国内の方が合っているかも」となるかもしれません(逆もあります)ので、色々な大学を調べてみてください。

そして次に留意しておいてほしいことは、出願 / 受験の日程です。私が進学する東京外国語大学を例にすると、最終試験期間中に出願、最終試験直後に一次試験結果発表、二次試験という流れでした。一番避けたいのはIBの勉強、受験、どちらも中途半端という状態。もったいないです。そのため、できるものは前々から手を付けていってほしいです。私は学校の放課後はIBの勉強や課題、帰宅後の時間や学校の休み時間を使って大学の提出資料の完成に取り組み、早期に仕上げるぞという根性を持ってやっていました。本当にしんどいですが最後まで妥協せず、上手く両立させていってほしいです。

【入試情報-2次試験-】

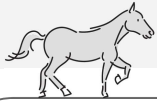
1次試験の結果発表の約1週間後にはすぐ二次試験が迫ってきます。二次試験では小論文と面接があります。小論文に関しては、大学の入試課に行くと各学部二年分の過去問を見ることができます。是非足を運んで問題の雰囲気やおおよその傾向を掴んでほしいです。また、国際社会学部の場合は他学部とは少し異なり、課題図書を読まえて小論文を書く形式です。9月ごろに入試要項が出され、その中に課題図書が記載されているので、早めにその本を購入し読み進めることをおすすめします。試験に本の持ち込みは可で、重要だと思ふところに線を引くことは許されていますが、実際は試験中何度も本を読み返す時間の余裕はあまりないので、事前に3周くらい読み込んで、内容を頭に叩き込んで置き、問題文に関係する部分のみを開いて読む作戦の方が良いと思います。さらに私は著者の論文やインタビュー動画などを多く見たりして、その人がどのような価値観で、どのような考えを持っているかを書きだし、体系的にまとめていました。また、面接でも課題図書の内容に関して意見を求められるので、本の内容を読まえての自分の意見も言えるように準備しておいてください。いずれにせよしっかり読み込んでおくことが重要だと思います。面接に関しては、IBを良く知っているパターンとあまり知らないパターンを想定した2パターンを用意して練習しておく方が良いと思います。教授によってIBへの理解度が異なる可能性が大いに考えられるので、最初は低い腰で構えつつ、教授の反応を見て、よく知らなそうと思ったら少しワードチョイスを変えてみたり(例:TOK → 知の理論、EE → 課題論文など)して活動を最大限アピールできるようにすると良いと思います。また、練習の数だけ当日の緊張は緩和されます。

【ちょっとしたエール🔥】

進路の選択が近づいてくると、精神的に参ってしまい、何もかも放り投げてしまいそうになりますが、そんな時は家族や友人など、誰か信頼できる人に全て吐き出してみてください(私の場合は家族でした)。他の人の意見をもらうことで、視野が広がり、助けられることがきっとあると思います。もう一点。9月以降から徐々に合格が決まりだしてくる人が出てくると思いますが、全く気にしないでください。常に自分に集中して、他人と比較せず、その時々やるべきことだけに専念してください!心から応援しています!!!

University of Salford

– Psychology of Human and Animal Behaviour –



YIS 15th, IB 2nd

Why did I choose to study in the UK?

<Clear entry requirements ✨>

In UK universities, you will most likely be accepted if you meet IB and IELTS score requirements.
→ When selecting the schools to apply, it is easier to define safety, match, and reach schools!

<3 year degrees>

A big benefit of a 3 year course is the reduction of tuition fees by 1 year.

note: However, the length depends on the faculty and type of degree. Scottish universities typically have 4 year degrees.

<Highly specialized and advanced learning>

Universities in the UK are famous for the highly specialized lessons offered in each department. If you have certain goals for your future, you would be able to obtain specialized studies in the UK which will get you closer to your ideal career. 📌



Utilizing Spreadsheets!!

Information about faculties can be easily gathered from university websites and promotional videos. Putting the information together in a spreadsheet as shown below will make it easier to compare various criteria and would help decide on the university of your choice!

university	undergraduate	psychology ranking	students satisfaction ranking	graduate prospects ranking	IB score	IELTS	🌟 modules	societies / clubs	tuition
Salford	Psychology of Human and Animal Behaviour	55	73	53	31 hold English and math	6.5 each coomponent 5.5	human animal interaction(1) animal behaviour(1) mental health(3) animal therapy/animal-assisted therapy(3)	equestrian → at Ashton Hall Equestrian Centre wildlife society	£16,380
Southampton	BSc Psychology	17	35	15	34 (HL 6,6,5) hold math	6.5 each coomponent 6.0	Perspectives in Human Animal Interactions animal walfare	riding psychology Teddy Bear Hospital conservation volunteers	£25,000

Rankings

- Subject ranking in the UK
- Student satisfaction
- Post-graduation and employment rates

IB score

In addition to the overall score, many universities have requirements for the 3 HL subject scores

modules (detailed content of the course)

- Most important!! Search...
- If you can learn precisely what you're interested in
 - How in depth you can study

Activities to realize you future path

- Do some extracurricular activities related to the department you wish to study! Even if they are small or not directly related to your field.
- Work experience would be ideal.
 - It's good to build up or expand on your school activities.

Example: When studying "Flowers for Algernon" in EngB HL, I read a essay about the psychological trends of the characters, which further expanded my understanding.

Lastly

For your motivation, find the right school for you!

I hope you all could find a university or department that excites you just by reading the modules^^

The University of Manchester Chemical Engineering



YIS 15th IB2期生

① When and how did I decide on this university?

I only started finalising my university choices **after my final grades were out** since it was hard to predict my score. I used a wide variety of UK university rankings, with the main ones being “QS world rankings” and “Complete University Guide”.



•How do you search for the best suited university?

★ It is vital to filter results by a specific subject area, i.e., I would always search “Chemical Engineering universities ranking UK”. Although overall rankings are important, subject-specific rankings demonstrate the school’s suitability for your desired course.



③ Important things to be aware of early on !



UK universities place a great emphasis on your IB grades, especially your HL grades.

E.g.) Birmingham requires only 32 overall, but 6, 6, 6 in your HL, which must include Chemistry and Math at HL. **If you do not meet the score requirements, it is hard to get in.**

★ Degree decisions have to be made early on, by checking if you have the necessary HL subjects for the course.

Final thoughts

Deciding which university to go to could be a daunting process, but it can be made possible with sufficient preparation, hard work, and a support system. Don’t hesitate to get all the help you need, and all the very best for you future studies!

② The application process

I applied through a non-UCAS route with the help of a relative who was a student counsellor. The process was as follows:

1. The counsellor contacted INTO, an institution with direct links to universities. INTO is available for UK and US universities, and 1 Australian University.
2. I prepared a CV, photos of my passport, and my IELTS score
3. I got a conditional offer for University of Manchester with a foundation year, and Queen’s University of Belfast year 1.
※ The condition was submitting UKVI IELTS 5.5 and IB official score photos.

④ Writing the essay 🖋️

Q. When did I start?

A. After my final exams, and I did most of the work in my winter break

Q. What did I use?

A. **Personal statement guide that was on Skillshare.** I also searched online for personal statements on chemical engineering that were accepted for the top universities (e.g. on Student Room).



SKILLSHARE



Q. How many drafts did I write?

A. 2 on my own, then 3~4 after receiving feedback.

Q. Who checked it for me?

A. I sent it to my relatives who are studying for majors in UK universities.

Q. How long did the whole process take?

Around one month. Feedback and editing time also needs to be taken into account.

神奈川県立横浜国際高等学校

IB グループ

令和 5 年 5 月 発行

CR () NO () 氏名 ()